

## Si-R G110B V04.04 変更内容一覧

### □機能追加・改善

No.	項目	追加内容
1	データコネクト	<p>通信サービス「データコネクト」接続において以下の対応を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接続優先制御 SIP発着信が競合した場合にどちらの接続を優先するかを設定できるように対応しました。 ("remote ap connect priority"コマンド)</li> <li>・発着信制御 発信専用または着信専用として接続できるように対応しました。("remote ap callmode"コマンド)</li> <li>・回線障害検出 SIPサーバ登録失敗時にシステムログおよび/トラップ通知するように対応しました。</li> <li>・SIP接続状態のMIB値への反映 データコネクト接続インタフェースの状態をSIP接続状態に連動するように見直しました。</li> <li>・ホームゲートウェイ配下での接続 ひかり電話対応のホームゲートウェイ配下でデータコネクト接続ができるように対応しました。</li> <li>・IPsec化後のパケット長で帯域制御、シェーピングレート算出を行うように見直しました。</li> <li>・IPv4接続 ・マルチダイヤル定義数を拡張(3→8)</li> </ul>
2	SSHクライアント	SSHサーバへ接続するためのSSHクライアントコマンド(ssh)をサポートしました。
3	DHCP(IPv4)クライアント	<p>DHCPサーバから配布されたClassless Static Route情報を経路情報として装置へ登録できるように対応しました。</p> <p>これに伴いDHCPサーバから通知された経路情報は以下のコマンドにて登録有無を設定できるようにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・lan ip dhcp client option router</li> <li>・lan ip dhcp client option clstatic</li> </ul>
4	DHCP(IPv6)クライアント	送信するSolicitメッセージのLink-layer addressを、物理ポートのMACアドレスからlan定義にバインドされているMACアドレスを使用するように変更しました。
5	FQDN指定	<p>以下の機能における相手側アドレスをFQDN指定できるようにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IPsec接続時のトンネルリモートアドレス</li> <li>・接続先監視機能における監視先アドレス</li> </ul>
6	データ通信モジュール	<p>データ通信モジュール(wanコマンド設定)接続において発呼連続失敗時に、自動発呼抑止がかからないように制限解除しました。</p> <p>これに伴い連続認証失敗上限回数を以下のコマンドで設定できるようにしました。</p> <pre>remote &lt;[number]&gt; ap &lt;[ap_number]&gt; limit auth-error &lt;limit&gt;</pre>

### □修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V04.00～V04.03	IPv6フラグメント対象のパケットを送信すると装置が再起動することがある。
2	V04.00～V04.03	telnet/ssh接続にてコマンド表示時、余分な改行が表示されることがある。
3	V04.00～V04.03	通信サービス「データコネクト」利用中に通信負荷を与えるとSIPセッションのみ残存し、IPsec通信ができなくなる場合がある。
4	V04.00～V04.03	相手側のトンネルエンドポイントアドレスが不定なIPsec/IKE構成にて接続先監視機能を併用した場合に、IPsec/IKE SAの削除と確立が繰り返され通信できなくなる。
5	V04.00～V04.03	通信サービス「データコネクト」利用中にSIPサーバへのREGIST有効期限切れとDHCPの取得(更新)処理が同時に発生すると、装置が再起動する場合がある。
6	V04.00～V04.03	通信サービス「データコネクト」の利用において、手動接続(onlineコマンド)による複数の接続・切断を行った場合に再接続できなくなることがある。